

(学年) 第1学年、(教科・科目) 国語科・現代の国語

一斉学習

(単元) 目的に応じて書く 本のPOPを作ろう

(本時のねらい)

さまざまな単元において、授業中の「話す」、「聞く」、「書く」、「読む」の各活動においては活発に取り組むことができる生徒たちである。しかし、授業以外で本を「読む」機会や、効果的な表現を考えて「書く」機会が少ないのが現状である。そこで、生徒の読書への意欲向上と目的に応じて「書く」力を育むことを目的に、本単元を設定した。本時は、夏休みに読んだ本について各自が作成したPOPを相互評価する「POPコンテスト」として実施した。

(ICT活用方法)

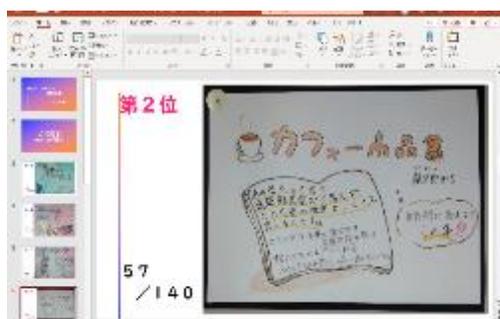
プレゼンテーションソフト（生徒が作成したPOPを写真で読み込んだもの）を電子黒板にスライドショーで写し、生徒は各自の1人1台端末のアンケートシステムで投票を行う。その集計結果を発表し、他者評価を取り入れた効果的な表現や読書活動に発展することを期待し、活用する。

(本時の展開)

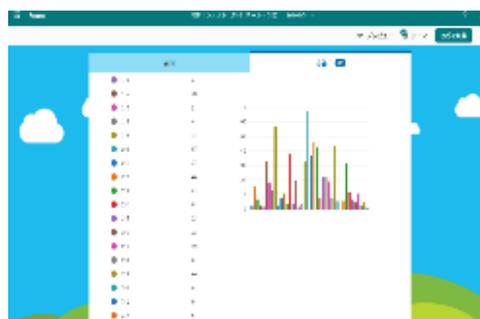
時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標、学習内容について説明する。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 評価項目と評価基準について理解する。 POP作品のスライドショーを見て、評価表に記入する。 評価の結果をアンケートシステムで入力する。 コンテストの結果を見て、効果的な表現の工夫について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な表現に必要なポイントを確認し、根拠を持って評価ができるように説明する。 例を示してから、評価の方法や選択の視点を確認させる。 各POPへの評価と、総合的に高い評価を付けた上位5作品を入力させる。 総合評価としての上位5位から順番に1位までの作品を電子黒板で見せながら、特によい点を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板にプレゼンテーションソフトのスライドショーを写す。 評価の結果をアンケートシステムに入力させる。 アンケートシステムの集計結果から、上位5作品をプレゼンテーションソフト上に作成する。

まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のまとめを聞き、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の表現意欲や読書意欲につながったかをアンケートシステムに入力させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自アンケートシステムに入力させる。
-----------	--	--	--

(授業の様子)



コンテスト結果のスライド



各自がアンケートシステムで入力した結果

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

アンケートシステムへの入力が初めての生徒ばかりだったが、すぐに習得することができていた。コンテストの結果発表の際は大いに盛り上がり、拍手や賞賛の発言が多く、結果発表が即時行われ、共有できたことは、ICT活用の大きな成果であったと感じる。また、まとめで行ったアンケートでは、95パーセントが好意的な回答であった。しかし、自分の作品が評価項目に沿ってクラスメイトからどのように評価されたのかを把握したい生徒へのフィードバックが十分にできなかった。今後は、アンケートシステムのフィードバック機能の活用方法を検討し、各自の今後の活動の意欲向上につながるようにしたい。